授業科目	教育方法論					実務家教員担当科目	-
単位	2	履修	選択	開講年次	3	開講時期	前期
担当教員	木村　政伸						
授業概要	教育方法についての基本原理及び基礎理論から、最近の教育改革における教育方法及び技術についてまでを学び、実際に有用な学習指導案を作成する。 授業では、反転授業、ディスカッション（討論）、グループワーク、学生による発表（演習）などを行う。						
授業形態	講義・グループワーク			授業方法	反転授業、ディスカッション（討論）、グループワーク、学生による発表（演習） Classroom を通じて事前学習を行う。		

学生が達成すべき行動目標	
標準的レベル	・教育方法の基礎的理論と実践を理解している。 ・これからの社会を担う子供たちの求められる資質・能力を育成するための教育方法の在り方（主体的・対話的で深い学びの実現など）を理解している。 ・学級・児童及び生徒・教員・教室・教材など授業を構成する基礎的な要件を理解している。 ・学習評価の基礎的な考え方を理解している。 ・話法・板書など、授業を行う上での基礎的な技術を身に付けている。 ・基礎的な学習指導理論を踏まえて、目標・内容、教材・教具、授業展開、学習形態、評価規準等の視点を含めた学習指導案を作成することができる。 ・子供たちの興味・関心を高めたり課題を明確につかませたり学習内容を的確にまとめさせたりするために、情報機器等を活用して効果的に教材等を作成・提示することができる。 ・子供たちの情報活用能力（情報モラルを含む）を育成するための指導法を理解している。 ・授業案に基づいて実際の発問などができる。 ・他人の授業を見て評価することができる。 教育実践に関わる基礎的知識を身につけ、諸課題に応じた学習指導案の作成や実践記録の分析を行うことができる。
理想的レベル	教育実践に関わる理論を修得し、諸課題に応じた学習指導案の作成や実践記録の分析を的確に行うことができる。

評価方法・評価割合		
評価方法	評価割合（数値）	備考
試験		
小テスト	30%	
レポート	40%	
発表（口頭、プレゼンテーション）	20%	
レポート外の提出物	10%	
その他		

カリキュラムマップ（該当 DP）・ナンバリング											
DP1	○	DP2	-	DP3	-	DP4	-	DP5	-	ナンバリング	NT34108J

学習課題（予習・復習）	1回の学習目安（時間）
復習：該当部分の復習	4

授業計画	
第1回	これまで経験した教育方法の振り返り
第2回	教育方法の基礎理論　（1） 前近代の教育方法
第3回	教育方法の基礎理論　（2） ―教えない教育―
第4回	教育方法の基礎理論（3） ー陰山メソッドー
第5回	アクティブラーニングの技法（1） ―グループワークの技法―
第6回	アクティブラーニングの技法（2） ーKJ法ー
第7回	アクティブラーニングの技法（3） ―データの構造的整理の技法―
第8回	開発主義の方法 ―生徒の主体的な学習の基礎―
第9回	よい授業とは何か ―教師の授業計画と子どもの反応が違った場合―
第10回	教育測定と評価
第11回	学習指導案を作る　（1） 教材研究の技法
第12回	学習指導案を作る　（2） 授業計画を作る
第13回	授業の技術と展開　（1） 模擬授業を行う
第14回	授業の技術と展開　（2） 授業案の相互点検
第15回	学習のまとめと確認
テキスト	テキストは特に用いない。プリント配布予定。
参考図書・教材／データベース・雑誌等の紹介	平成29年3月改訂学習指導要領（小学校、中学校）Web版 その他の参考文献は最初の授業で印刷配布する。
課題に対するフィ	小テストは、採点後授業の中で解答例を示しながら解説をし、各自には点数を知らせる。 レポートは、全体に対してコメントを公表する。

ードバックの方法	
学生へのメッセージ・コメント	理論と実践の統一的理解が必要であるため、授業や教科外教育についての客観的、分析的視点とともに主体的、協同的な学習参加が重要である。 無着成恭編『山びこ学校』や斉藤喜博著『学校づくりの記』など、戦後のすぐれた実践記録をできるだけ多く読破してほしい。